

# 見るのが楽しくなる！鑑賞のススメ



鑑賞している子どもたちのキモチってどんな気持ち！？

どこかに注目して見ているのかな？なんとなく全体を見ているのかな？

見ることは言葉を話すことのように、他のことにも役に立つんじゃないかな？

時間割は教科で区切られていますが、子どもたちの成長には区切りはありません。

子どもたちはアタマの中でたくさんの線をつないでいます。先生の視点をちょっと変えるといろんなところから線で結んであげられるんじゃない?!という

図工側からのアプローチです。



書道でも表現 ⇄ 鑑賞?!



算数 × 鑑賞!?



# みる・かく・みる・はなす

東京家政学院大学 立川 泰史



- 「みるってこと」を「かく・つくるってこと」を通して味わい、聞く力・物語る力を培いながら楽しめます。
- 絵画をみると、なにを連想するか、すぐに「話しことば」にとびつかず、まずは野菜やくだものなどにたとえてみましょう。

「絵にして・みる」、「伝えて・みる」は、ヴィジュアル・コミュニケーションです。自分の連想や表現が、ほんとうに正解なのか、表した形や色を通して「造形的な見方・考え方」を培うゲームと話し合いを行います。分析する見方、批評する考え方、見ているのは眼ではなく、脳みそだからこそ、算数や理科の見方・考え方に通ずるのは、むしろ当然ではないでしょうか。

こどものあたまはひとつだし、ここが是非、みなさまと考えてみたいところです。



















